

BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

No. 19 March 1950

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

京都大學農學部

演習林報告

第十九號

京都大學農學部附屬演習林

昭和二十五年三月

森林植生型の造林學的研究

上田 弘 一 郎

The Silvicultural Study of
The Forest Vegetation Type

By

Koichiro Ueda.

森林植生型の造林學的研究

目 次

	頁
緒 言	1
I 総 説	2
§ 1 森林植生型の名称	2
§ 2 森林植生型の林学上における應用的意義	2
§ 3 研究調査地の選定と森林植生型の設定方法	4
II 北方原生林の森林植生型に関する研究	5
§ 1 森林植生型の設定	5
§ 2 森林植生型と林分の構成ならびに更新上の因子の關係	5
(1) 樹種の混交歩合とその推移	5
(2) 樹高, 径級および材積	6
(3) 樹齡ならびに生長状態	7
(4) 森林植生型と根系の關係	9
§ 3 森林植生型と立地因子の關係	9
§ 4 森林植生型と地位の關係	10
III 北方天然更新に対する森林植生型の研究	11
§ 1 原生林疎開後における地床植物の推移	11
§ 2 森林植生型と稚樹の發生の關係	12
§ 3 森林植生型と疎開後における残存木の生長の關係	15
III 南方原生林の森林植生型に関する研究	17
§ 1 森林植生型の設定ならびにその地床植生	17
§ 2 森林植生型と林分の構成ならびに更新上の因子の關係	18
(1) 樹種の數ならびにその混交状態	18
(2) 直径ならびに樹高とその本數配分	19
(3) 單位面積当り立木の本數ならびにその材積	21
(4) 生立衰木および枯損木	21
(5) 樹齡ならびに生長状態	22
§ 3 森林植生型と立地因子の關係	23
§ 4 森林植生型と地位の關係	24

V	南方人工造林に対する森林植生型の研究	25
§ 1	森林植生型の分類	25
§ 2	地床植物ならびに森林植生型の推移	29
	(1) 原生林を皆伐後そのまま放任の場合	30
	(2) 規那樹造林地における場合	32
§ 3	森林植生型と規那樹生長の関係	36
	(1) 樹高生長	36
	(2) 直径生長	39
	(3) 樹冠の拡り	39
§ 4	森林植生型と根系の関係	40
	(1) 規那樹の根系と森林植生型の関係	40
	(2) 指示植物の根系と森林植生型の関係	42
§ 5	森林植生型と立地因子の関係	43
	(1) 地形に関する因子	43
	(2) 氣象に関する因子	44
	(3) 土壤に関する因子	48
§ 6	森林植生型と地位の関係	55
§ 7	森林植生型ならびにその推移と施業的因子の関係	55
VI	結 論	58
	Résumé	61
	文 献	64

昭和二十五年三月二十六日 印刷

昭和二十五年三月三十一日 發行

京都大學農學部附屬演習林

京都市左京区北白川

印刷者 石田嘉十郎

京都市中京区丸太町通小川西入

印刷所 株式會社 石田大成社印刷所

京都市中京区丸太町通小川西入

